

# 家庭菜園コーナー

※肥料・農薬等は、JA営農資材センター（岩見沢市桜木1条1丁目）でご購入できます。



## ブロッコリー (アブラナ科)

時期	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
春まき		●	●	●	●	■		
露地		●	●	●	●	■		

### 性質

● = 種まき ■ = 収穫

- ①キャベツの仲間であまり冷涼な気候を好み、緑色の花蕾（からい）と花柄（かへい）を食用とする。
- ②発芽後は茎葉の生育が旺盛となり、低温にさらされると花蕾を形成します。花蕾の形成は、一定期間の低温が必要で、一般的に早生種では、本葉5～6枚の苗で15℃で3～4週間の低温が必要とされています。
- ③茎の頂部に着生する頂花蕾だけでなく、わき芽に着生する側花蕾も収穫することができる。

### 品種

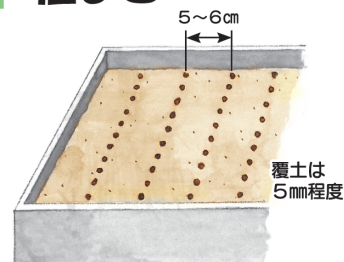
- ①中早生種の「緑嶺」と「ハイツ」、「ピクセル」が一般的。ハイツの方が、花蕾色がやや淡い。

### 作り方のポイント

- ①湿害に弱いので、排水性の良い畑を選定し、高畦栽培が良い。
- ②キャベツやハクサイなど、アブラナ科の野菜を3～4年は作付けしていない畑を選ぶこと。連作した場合は、根こぶ病などの病気が発生しやすくなる。
- ③地上部が伸びてくると、風で倒れやすくなるので、支柱を立てて結束する。
- ④病害虫に弱いので防除を徹底する。

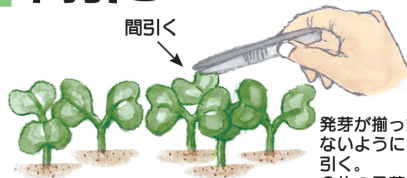
ブロッコリーは緑黄色野菜の代表で、ビタミンA(カロテン)やビタミンC、食物繊維が豊富です。ビタミンCはイチゴの2倍も含まれていますが、熱に弱く水溶性であるため、茹で過ぎには注意しましょう！

## 1 種まき



種をまいたら細目ジョウロで水をやり、発芽するまで新聞紙をかけておく。育苗温度は20℃前後。

## 2 間引き



発芽が揃ったら葉が重なり合わないようピンセットなどで間引き。2枚の子葉の大きさが同じできれいなハート形のものを残す。

## 3 移植

本葉2.5葉のころに経9cmのポリ鉢に移植する。



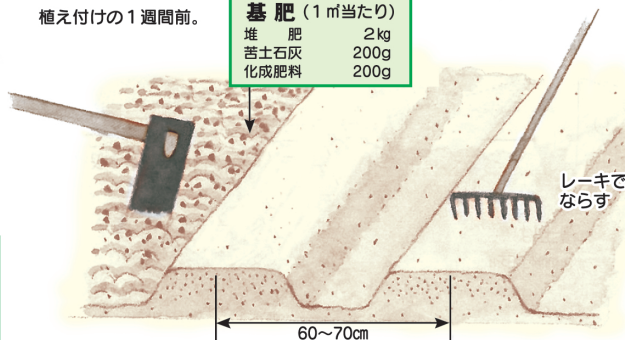
本葉5～6枚の苗に仕上げる。

20～25日

## 4 畑の準備

植え付けの1週間前。

基肥 (1㎡あたり)  
堆肥 2kg  
苦土石灰 200g  
化成肥料 200g

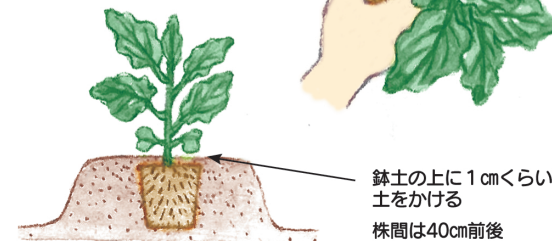


## 5 植え付け

鉢には前日夕方か当日の朝に水をやっておく。



根鉢をこわさないように



鉢土の上に1cmくらい土をかける  
株間は40cm前後

## 6 追肥・土寄せ

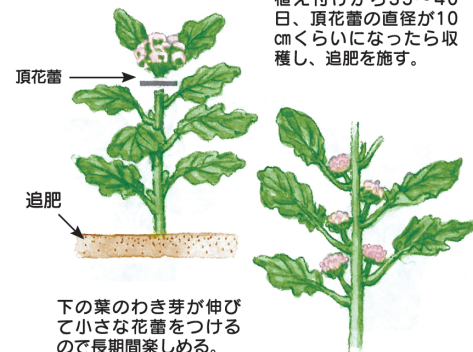
植え付けの15日くらいあとに追肥をやり、除草をかねて中耕し、株元に土寄せする。



1株当たり化成肥料を軽く1握り。

## 7 収穫

植え付けから35～40日、頂花蕾の直径が10cmくらいになったら収穫し、追肥を施す。



下の葉のわき芽が伸びて小さな花蕾をつけるので長期間楽しめる。

